

2023年度 第2回 介護医療連携推進会議

- 開催日時 2024年 3月 18日(月) 16:00～17:00
- 開催場所 在宅支援センター 甲州ケア・ホーム会議室
地域住民代表者 4名
笛吹市 :介護保険課給付適正職員、長寿支援課地域包括職員
施設側役職員:部門管理者、事業責任者、訪問サービス課副課長、地域医療医師、事務責任者、事務局

2023年度、第2回目の介護連携推進会議を参集方式での開催とします。

1. はじめの挨拶 甲州ケア・ホーム 関谷 宏美在宅支援部長より
2. 参加者紹介 外部委員 自己紹介
施設側 自己紹介

3. <議題>

①事業所の現状報告について 戸井田事業所長より報告

1. 利用状況・訪問状況
看護・リハの訪問件数と訪問時間、1回あたりの訪問時間
2. サービス利用者状況
R5. 8月～サービス開始利用者の様子等

3. 事業所取り組み

『ACP 人生会議』～利用者やわたしのピースを集めてよりよい人生をみんなで考える～というテーマで学習会を行った。『私の想い手帳』をもとに、日々の訪問の際に利用者より、聞かれた言葉をスタッフで共有し、一つ一つのピースとしてつなぎ合わせていき、安心して在宅生活を続けられるように支援していければと考えている。

これからも、地域の方の在宅生活を支えていくため、よりよいサービスが提供できるように努力していきたいと思っています、この会議に限らず、ご意見、ご相談等あれば連絡いただければと思います。

<質疑応答・ご意見>

- 利用状況の中で、境川、芦川、八代の利用者はないが、今後問合せがあれば利用可能か？
→ 4月から職員数が減るため、移動時間等もかかるため、現状では対応は難しい。ただ今後、基盤づくりが整えば可能になるかも
- 人材確保が難しい中、サービスをまわしていくのはどうしているのか？
→ 実際に職員数が次年度7名→5名となり厳しいが、定期巡回の魅力を伝え、人材確保に努めたい。
- 提案として食品衛生上等あるが、いこいと定期巡回で連携が図れたら良いのではないか。
→ 実際、料理は時間がかかるので、時間短縮のためお弁当を購入していたりするので、今後、検討していきたい。
- わたしの想い手帳は笛吹市サロン等 20カ所 200名ほど笛吹市でも伝えているが、なかなかどんな最期を迎えたいか等を聞くのは、現実的には聞きにくく、難しい。
- 人材確保は難しいが、今後の計画として、介護職員を増やす取り組みを行っていく。
- 笛吹市の地区ごと、定期巡回を増やしていければ、少しでも安心して生活できるようにサポートしやすくなるのではないかとと思う。

②大規模災害時における市町村との連携について 笛吹市より

笛吹市 地震だけでなく、様々な災害を想定し防災計画を進めている。防災に関する自覚と自発的な協力や、住民の防災意識を高めることが必要である。災害が発生した際には、被害を最小にとどめられるようまた、事業所に余裕があれば、福祉避難所を受けてもらえたらと思う。

3年に1度、運営指導あり、防災に関する備え、BCPの確認・作成 → 今年度4月より作成されていないと減算になる。

<質疑応答・ご意見>

- 地区でも防災訓練等しているが、区民全員が参加しているのではないので、何人住んでいるのがまた、介護が必要な方がいるのか、分からず、区でも把握できていない。
- 事業所側でも、防災に関する備え、確認や見直しを行い、全体で対応を進めている。

③その他

本日いただいたご意見や質問を今後の事業運営に活かしていきたい。今後も事業を継続していくにあたり皆様のお力添えをいただきたいと思っております。お忙しいところありがとうございました。

<次回開催について>

次年度第1回の会議は2024年9月を予定しております。